下塚田ふるさと応援隊　定例会資料

毎週土曜の夜、高台に灯りをともす

― 下塚田・週末焚き火のこころみ ―

A君からの一つの申し出から

「毎週土曜の夜、あの鯉のぼりの高台で焚き火をしてみたい」

これはA君から寄せられた発案です。

大がかりなことではありません。ひとりの「やってみたい」から始まる、小さなこころみです。

まず発案者がいる、ということが何より大切です。やる人が決まっているところから、この話は始まっています。

決まった場所で、決まった時間に、火をともす

場所	鯉のぼり掲揚場所の高台、メインポール下
日時	7月から、毎週土曜日 午後7時〜午後9時
期間	約9ヶ月の長丁場
規模	キャンプ用の焚き火台による、小さな焚き火
天候	雨の日も風の日も、変わらず続ける

派手な行事ではありません。「いつ行っても、そこに灯りがある」。その当たり前を続けることが、この企画の本体です。

一度きりの催しではなく、習慣にする

イベントは終われば消えますが、毎週同じ場所・同じ時間に灯りがあることは、地区の風景の一部になります。

「土曜の夜は、あそこに火がある」

そう皆が思えるようになることが、この9ヶ月の目標です。

> だからこそ、雨でも風でも続けます。続けることそのものが、この企画の値打ちです。

こんな広がりが生まれたらいい

今はまだ「焚き火をする」というだけの、まっさらな企画です。ここから先の広がりは、これから皆で育てていく部分です。たとえば——

立ち寄りのきっかけ

灯りを目印に、散歩や立ち寄りのきっかけになる

世代をこえた交流

世代を問わず人が集まり、自然と言葉を交わす場になる

元気のメッセージ

続けること自体が「下塚田は元気だ」という地区内外へのメッセージになる

> これらは「こうします」という約束ではなく、「こうなったらいいな」という願いです。皆さんのアイデアで形を変えていけます。

人手は心配いりません。お願いは「燃料」だけ

火の番	発案者A君を中心に行います（ボランティア）
費用	人件費はかかりません
お願い	焚き火の材料（薪など）を、地域から提供いただけると助かります

> ご家庭やお仕事で出る、剪定枝や端材などがあれば大変ありがたいです。皆さんの「ちょっとした提供」が、この灯りを支えます。

小さな火でも、備えはしっかりと

規模	キャンプ用焚き火台を使用し、火を大きくしません
消防署	開始前に事前連絡を行います
消火・後始末	毎回きちんと火を消し、片付けてから解散します

> 高台という場所柄、周囲への配慮と確実な消火を最優先します。安全あっての継続です。

この灯りを、みんなで育てていきませんか

これは完成された計画ではなく、これから皆で形にしていく、始まったばかりのこころみです。本日お願いしたいのは、二つだけです。

理解と見守り

この企画への理解と、あたたかい見守り

材料のご提供

できる範囲での、焚き火の材料のご提供

からだもこころも100年元気で。

土曜の夜の小さな灯りを一つ、加えさせてください。

> まずは始めてみて、走りながら一緒に考えていけたらと思います。ご協力をお願いします。

からだもこころも、100年元気で。

下塚田ふるさと応援隊